

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年8月9日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年8月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【凍土補給ろ過水配管からの水の漏えいについて】 協力企業作業員が、非常用の凍土補給ろ過水配管から水が出ていることを確認し、当社運転員へ連絡。 当社運転員が、凍土補給ろ過水ポンプを「停止」 および ポンプ吐出弁(V-204S)を「全閉」にしたところ、漏えいが停止したことを確認。 漏えいした原因は、配管のホースバンドが外れ、配管からホースが抜け漏えいしたもの。(ホースバンドの緩み、または気温の上昇に伴うホース内部圧力の上昇によるものと推定) 現在、補給水は凍土補給浄化槽より供給。 当該ろ過水配管は、凍土補給浄化槽からの補給が出来ない場合の予備ルートに設置されているものであり、凍土遮水壁設備の運転に影響なし。 当該漏えい箇所の補修および抜け防止対策を実施し、復旧。今後、抜け防止の対策品へ交換予定。</p>	GⅢ	7月31日
2	<p>【共用プール非常用電気品A区域給気HEPAフィルタ損傷について】 協力企業作業員が、共用プール非常用電気品A区域給気フィルタ室に設置されているプレフィルタについて、差圧上昇に伴い交換を実施。 その際、プレフィルタ後段に設置されているHEPAフィルタの外観目視点検を実施したところ、フィルタが破損していることを確認。 なお、HEPAフィルタが破損していたとしても建屋外環境が改善した為建屋内に建屋外の汚染が入り込むリスクは低いと判断。 今後、破損しているHEPAフィルタの交換を実施予定。</p>	GⅢ	7月30日